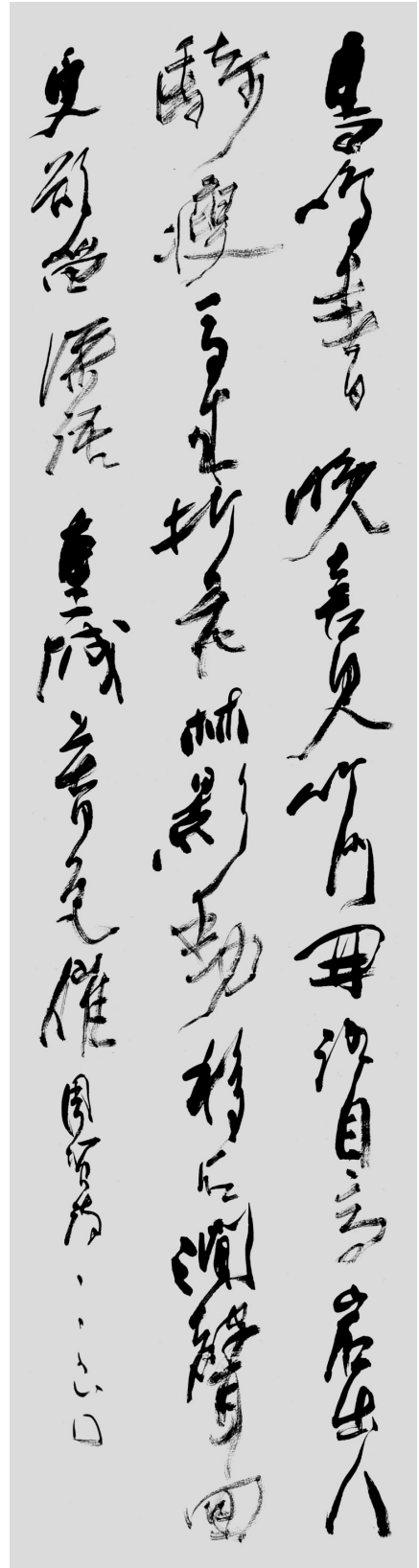


10月25日正午必着

明石春浦先生書



鳥鳴春日晚
折花林影動

喜見竹門開
移石澗聲回

路自高岩出
更欲留深語

人騎瘦馬來
重城暮色催

(周賀)

明石幸子書



二句三年得
知音如不賞

歸臥故山秋

(賈島)

たった二句に三年かかった。吟詠しているうちに涙がこぼれて来る。この詩をお目にかけて、もしほめられなかったら、私は故郷へ帰るほかない。

山かひの秋のふかきに驚きぬ 田をすでに刈りて 乏しき川音 (中村 憲吉)

宿_二關西客舍_一寄_二嚴許_二山人_一(岑 参)
雲送關西雨 風傳渭北秋
孤燈然_二客夢_一 寒杵搗_二鄉愁_一
灘上思_二嚴子_一 山中憶_二許由_一
蒼生今有望 飛詔下_二林丘_一

関西の客舎に宿して、嚴・許_二山人_一に寄す
雲は送る 関西の雨 風は伝う 渭北の秋
孤灯 客夢を然し 寒杵 郷愁を搗く
灘上 嚴子 pensando 山中 許由を憶う
蒼生 今 望み有り 飛詔 林丘に下る

山秋菊葉香(王 褒)
松壽已高猶綠髮 (楊誠齋)
楓年方少更紅裳

山秋にして菊葉香ばし
松壽已に高きも猶綠髮
楓年方に少にして更に紅裳

山中の秋に菊花は薫る。
楓は紅葉し松は色をかえない。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

樂_レ善_{不レ}倦 (孟子) 善事を爲すことを樂み、うむことがない



森戸春濤書

半紙部規定課題A

10月25日正午必着

鳥山
性光
悦

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

10月25日正午必着

行書

山光悦
鳥性

隸書

山光悦
鳥性

明石春浦先生書

草書

山光悦
鳥性

行草書

山光悦
鳥性

すがすがしい晨、年古りた寺に入って行くと、おりしもさしのぼる朝日の光が、空高く茂る林の梢を照らす。曲りくねった径は、すかにおくまった処に通じ、僧房のあたりに、花咲く木々が深く茂っている。山中の風光は、鳥の本然の性を満足させ、潭に映ずる影は、人の心の雑念を拭い去ってくれ、すべての物音が、いまやここにすべてひっそりとしずまり、ただ寺でうちならす鐘と磬の音だけがきこえてくる。

題「破山寺後院」 常建

清晨入古寺

初日照高林

曲徑通幽處

禪房花木深

山光悅鳥性

潭影空人心

萬籟此俱寂

惟聞鐘磬音

破山寺の後院に題す 常建

清晨 古寺に入り

初日 高林を照らす

曲徑 幽処に通じ

禪房 花木深し

山光 鳥性を悦ばしめ

潭影 人心を空しうす

万籟 此に俱に寂たり

惟だ鐘磬の音を聞くのみ

(出典)
朝日新聞社刊
「三体詩」下より

夜宴酔後留獻裴侍中

九燭臺前十二妹主人面醉

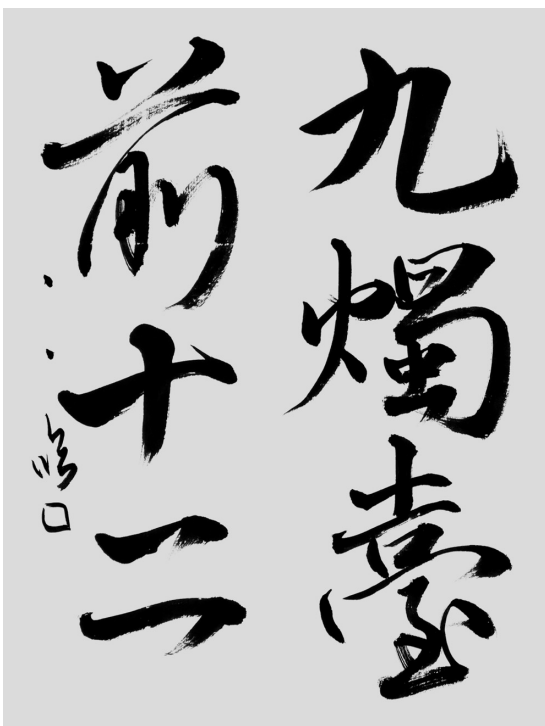
狂歡娛飄飄舞袖雙友花蝶

宛轉歌聲一索珠坐久欲

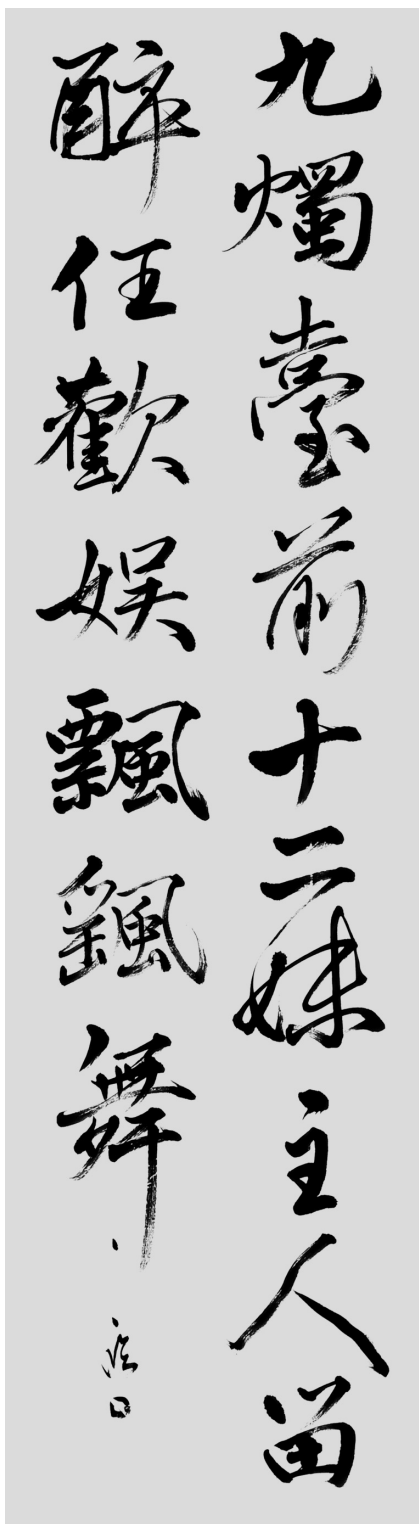
醒還酌酌夜深吟散更

夜宴酔後、留獻裴侍中／九燭臺前十二妹 主人留醉任歡娛／飄飄舞袖雙花蝶 宛轉歌聲一索珠／坐久欲醒還酌酌 夜深臨散更（踟躕）
夜宴酔後留りて裴侍中に献す。九燭台前十二の妹、主人留め酔わしめて歡娛するに任す。飄飄たる舞袖双花の蝶、宛轉たる歌声、一索の珠。坐すること久しく醒めんとして還酌し、夜深く散ずるに臨んで更に（踟躕す。）

10月25日正午必着



九燭台前十二の(妹)



九燭台前十二の妹、主人留め酔わしめて歓娛するに任す。飄飄たる舞(袖双花の蝶)

平安 藤原行成・白樂天詩卷

平安時代は、貴族の文化であり、従来の唐風文化から離れて国風文化へと移行していった時代でもあった。書の世界でも「三筆」の時代から「三蹟」(小野道風、藤原佐理、藤原行成)の時代へと唐風の書が優美典雅な和様書道へと変化していった。藤原行成の父は一条摂政原伊尹の子義孝、母は醍醐源氏・中納言源保光女、生まれてすぐ伊尹の養子となるが、伊尹がその年に没し、父の義孝も行成三歳の時に没、以後は母と外祖父保光に育てられる。若い頃はかなり不遇で、出家も考えるほどだった。源俊賢が藏人頭の後任に推挙してくれたことにより運が開け、出世するようになる。

書においては、優れた「手書き」で、世尊寺流の開祖として特別に尊重され、行成の書跡は「権跡」と呼ばれるようになる。この白樂天詩卷は、中国・唐時代中期の詩人、白居易(白樂天 七七二〜八四六)の詩文集『白氏文集』から四篇の詩を揮毫したもので、百八十二行より成る。紙枚は十一紙、毎行十三、四字を前後する程度で、文字の大小も甚だしい変化を示していない。しかし、その一字一時のすがたはさすがに優雅端麗をつくり、平安時代の典型的な筆蹟となすべきものである。(春龍)

10月25日正午必着

教育部毛筆



げい じゆつ
芸 術

中学一年

雨宮春聲先生書



ろう せい
朗 詠

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



こ
個

せい
性

小学五年

榎戸春龍先生書



しゅう
修

れん
練

小学六年

横川春川先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

10月25日正午必着



こう
公

へい
平

小学三年

藤田幸春先生書



や
屋

ね
根

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

も

や

小学一年・幼年



森戸春濤書

川

下

小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

つ	こ
一	が
本	ね
足	色
の	の
か	波
か	間
し	に
	立

小学五年

西	赤
の	と
山	ん
か	ぼ
ら	の
や	大
っ	行
て	進
来	が
る	

小学六年

れ	美
た	し
山	い
道	紅
を	葉
歩	に
い	か
た	ざ
	ら

中学

な	秋
季	空
前	に
と	い
な	わ
り	ー
ま	雲
し	下
た	わ
	や
	か

一般(級位)

夜	あ
の	ー
長	さ
き	す
思	く
ひ	も
は	の
我	る
ぞ	辛
ま	秋
さ	の
る	の

一般(段位)

きりぎりすいたくな鳴きそ 秋の夜^よの長き思ひは我^{われ}ぞまされる(藤原忠房)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可) また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

に	さ
	つ
い	ま
き	い
ま	も
し	ほ
た	り

幼年

の	た
ね	い
	こ
村	と
ま	
つ	ふ
り	え

小学一年

ろ	草
ぎ	む
の	ら
	で
な	
く	こ
声	お

小学二年

き	白
こ	ぎ
え	く
る	さ
虫	く
の	庭
声	に

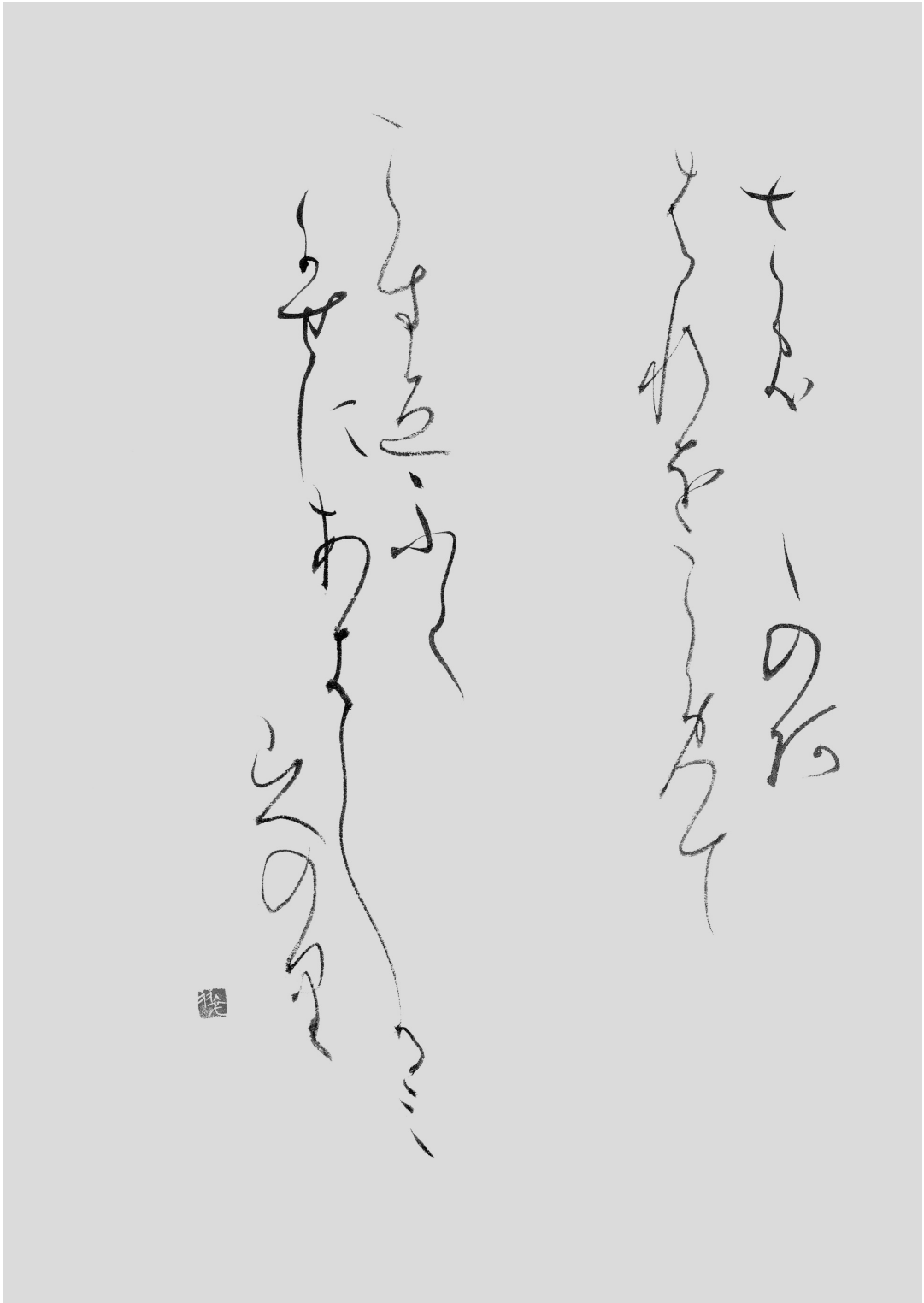
小学三年

を	な
ふ	み
ん	木
で	道
帰	の
り	お
ま	ち
す	葉

小学四年

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



さまくのあはれをこめてこすえふくかせにあきしるみ山への里 (西行)

松永翠舟先生書